

グリーンヒル
だより
2023年8月
〈夏号〉



みどり

※広報誌『みどり』のバックナンバーはHP内『お知らせ』からご覧いただけます。

「挨拶」 理事長 津川恵美子



今年はまた格段の暑さが続く夏となりました。年々暑さが厳しくなってくる様な気がします。また、お天気が極端になり、暑い時は命の危険を感じる程の暑さ、雨が降れば豪雨となり、家が押し流される程の激しい雨。また地震も度々起こり、まるで地球が泣いて怒っている様です。

その様な中ですが、新型コロナウイルス大流行で、三年間中止していた「夏祭り」を八月五日に四年ぶりに開催させて頂きました。なんと一〇〇名近くのご家族様が来苑下さいました。福祉施設にとり、「行事」というものは季節感を感じるとても大切なものです。それが三年間中止を余儀なくされたことは、ボランティアさん受け入れ不可も同様に、生活の彩りを著しく失わせるものでした。四年ぶりのグリーンヒルの夏祭り、大勢のご家族様がお見え下さった事は、本当に嬉しいことでした。皆様、楽しい夏の思い出の一ページを創って頂けたでしょうか。来年もまた楽しい夏祭りが出来ますようにと祈ります。

夏の思い出・・・というと思ひ浮かぶもの、各々あると思ひますが、私はセミの鳴き声と共に、麦わら帽子を被った祖父の後ろを妹と二人で歩いて歩きながら様々な草花を採取して、「押し花」を作った事が思い出されます。小学三年生の頃だったかと思ひます。懐かしい思い出です。また夏と言えば、忘れてはならない風物詩は「花火」でしょう。今年は、これも四年ぶりに八千代ふるさと祭りの「花火」が打ち上げられます。八月上旬、新宿の美術館で開催されている「生涯百年山下清展」に行ってきました。皆さんも良くご存知の「裸の大將放浪記」というテレビ番組の主人公です。山下清さんは、千葉県にも縁の深い方でした。この展覧会で、山下清画伯の子供時代のことや、家族のこと、施設でのこと、十五年にも及ぶ放浪のこと等、今まで知らなかった一面を知ることが出来、とても意義深い時間でした。それと共に、いつも正直な感性を持ち、周りを笑顔にさせてしまふ物言いに、人としての魅力も感じました。山下清画伯の代表作「長岡の花火」この緻密な貼絵も堪能し、改めて、この才能に感銘を受けました。この貼絵の様な見事な八千代の花火を今年、楽しみにしたいと思ひます。



翠声燿語

ハーバード大学が八十四年かけて解明した「幸福な人生を送る人」の特徴という文章を目にする機会を得た。現代人は何かと忙しい毎日を送り、「忙しさ」に忙殺されている、と言っても過言ではないだろう。人の幸福について思いを馳せる時、何が大切だろうか？人間は認知能力があり、過去を思い起こし、未来を予測することが出来るため、毎日が多忙であると感じてしまふ。それは正に「今」を生きながら、過去と未来のことも考えているからであろう。人生で何が一番大切で、

幸福を感じる事ができるものであろうか？それは「人間関係」に注意を向けること、そしてその為に時間を費やすこと。自分の時間を相手に使うということは、自分の命を相手に差し出すこと。時間には限りがあり、その総量は誰にもわからない。ある日突然なくなることもある。大切なその時間を、自分にとって大切な人に使う。それこそが人生の最終的な価値のあるものなのだと感じる。

二〇一七年に一〇五歳で逝去した聖路加国際病院名誉院長の日野原先生が生前記された言葉の中に、やはり同じことが記されていた。「相手の為に時間を使う」ということは、その人の為に自分の命を差し出すということです」と。当時はサラッと読み終えた文章が、今はその意味の深さを感じみと感ずる。(恵)

4年ぶりの開催！グリーンヒル納涼会

会」を八月五日（土）午後六時半から開催することができました。天候にも恵まれ、参加ご家族は三十五組八十名、その他太鼓（八千代若撥会様）・踊り（八千代舞踊連盟様・八千代絆クラブ様）・ボランティア（阿蘇北部支会様・グリーンヒル家族会の役員・OBの方々）を含めると総勢百名を超える皆様にご協力をいただき盛大に盛り上げて頂きました。苑前のロータリーを囲み、迫力のある太鼓の音に合わせ、ご利用者・ご家族も一緒に盆踊りを楽しみました。職員アトラクションでは、グリーンヒルキッズが歌とハンドベル・キー



五月八日より、新型コロナウイルス感染症が五類へ移行となり、日常生活が緩和されましたが、施設職員はマスクの着用・アルコール消毒などの感染対策を継続し、ご利用者の生活支援を行っています。

そんな中、四年ぶりの「納涼



ボードを演奏し「海」を披露してくれました。上高野に在籍するベトナムからの技能実習生は、先輩職員と一緒にアンジェラキさんの「手紙」を演奏。八千代台の職員は「きよしのズンドコ節」を全力で披露してくれました。そして、コロナ禍で納涼会を中止していた三年間に入職した職員を含めた上高野の新人アトラクションは、コスプレ姿で激辛ロシア

ンルーレットを行い、皆さんに分らないように我慢する姿が印象的でもおもしろかったです。各事業所が個性あふれるアトラクションを披露し、会場より一層盛り上げてくれました。

短い時間でしたが、ご家族と一緒に過ごせた時間は、ご利用者にとって、とても有意義な時間になったことと思います。来年もまた、ご利用者・ご家族様と一緒に楽しい納涼会が開催できればと願います。そして、今年、無事に納涼会を開催することが出来たのは、施設職員、そしてボランティアの方々のお力添えがあってこそだと感謝しております。ご協力ありがとうございました。またご家族の皆様も暑い中、ご参加いただき本当に有難うございました。最後に、株式会社シモカワ様、テント他協賛を頂きまして誠にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

【生活相談員 小柳 信也】



夏といえば・・・スイカ割り～！！



ご利用者1人ひとりに少しでも夏を感じてもらえるよう、目の前にスイカを置き雰囲気味わってもらいました。皆さん楽しそうにスイカを叩いていました。

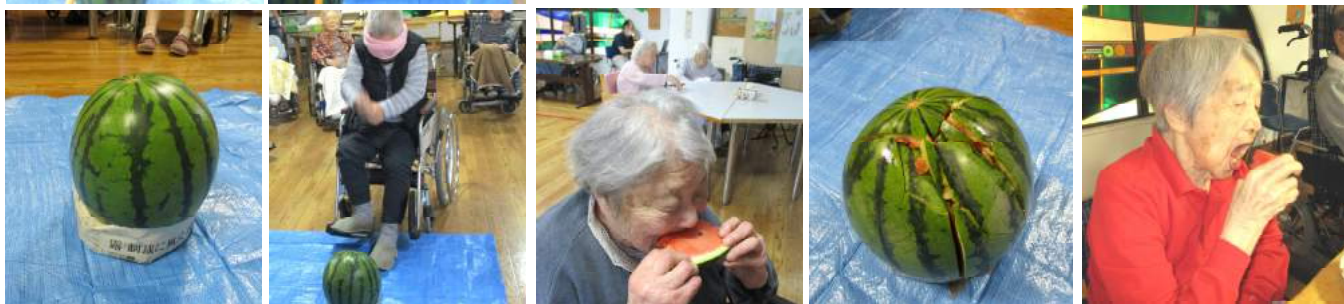
普段はあまり笑顔の見られない方の笑顔が沢山見られ、楽しみながら夏を感じてもらえたかなと思います。頑張って割っていただいたスイカでデザートを作り、そのまま召し上がれない方にも味わっていただく事が出来ました。

【1丁目リーダー 角田 里和】



7月20日に撫子フロアでスイカ割りを行いました。大きなスイカを順番に叩き、見事に割る事が出来ました。その後、皆さんで割ったスイカを食べましたが、すぐに無くなってしまふほど好評でした。次は梨を食べよう！と今から盛り上がっています。

【2丁目 副主任 一戸 則夫】



3丁目恒例『スイカ割り大会』を行いました。棒を手に持ち、颯爽とスイカに向かっていく姿が見受けられました。スイカを割る・・・ただそれだけの事が、昔からある日本の風物詩として周知されている事をご利用者の皆様から教えて頂きました。ご利用者には切ったスイカを提供し、割ったスイカは職員で美味しくいただきました。

【3丁目 副主任 橋本 仁】



セピア色の写真館

濱田 悦代 様 濱田 益実 (夫) 様記



元住吉にて

(続編……)
私たちは東京に戻って、悦代の意向も考慮し、住まいを東横線の元住吉に決めました。悦代は北海道育ち、私は九州の福岡で、これから暮らしていくには、自分なりの覚悟が必要だと思つた事を思い出します。まず二人の頭の中の物差しが同じではありませんでした。ある日、自宅に帰ると、悦代が大きなゴキブリを手で掴み、平気な顔で「この虫、何？」と聞くので、「本土ではゴキブリといい、同じ形の虫は大小有り、不潔で病原菌や寄生虫を媒介する為、嫌われていて、薬や叩いて処分し、絶対に手で掴んでは駄目。」と話し、その後その様な行動は見なくなりました。

生活が始まってしばらくすると、悦代の行動範囲は駅前の商店街まで広がりましたが、都会は怖い所という先入観がとても強く、教習所や料理学校を勧めても色よい返事はありませんでした。

その後、自由が丘にある料理学校(魚菜料理学園)に通い始め、親しい友達も出来て行動範囲は少しずつ広がり、東横線の話題も多くなりました。まもなく公団住宅の申し込み(無)抽選であ



湖北台:長女2歳

たり、昭和四十四年の夏に我孫子の湖北台に引っ越す事となり、私も楽しい団地生活が始まりました。都心まで二時間強、帰りの直通の最終が八時で、ホームを走る事が日課で、湖北駅近くでは各号棟の前で皆が飛び降りてました。

悦代もママ友が出来て活動の場も一段と広がり、昭和四十六年に長男が、昭和五十年に次男が、昭和五十四年には長女が生まれました。育児で悩み、病気で悩みの連続で、悦代の悩みが大変だった頃、私は仕事に追われて、私にこれに充分対応できなかった事を反省しています。また、悦代の周囲に居たママ友がサポートしてくれた事に大変感謝しています。

今でも折りに触れ思うことは、長男が五歳の時、足の手術後リハビリが始まる前に「お父さん、僕は何にも悪い事をしていないのにこんなになっちゃった。」って言った時、私は何が言った記憶はあるのですが、いまだもってその内容を思い出す事が



大和田

悦代・母・娘

出来ません。

この頃、悦代から見れば私は仕事に逃げていていると思われていた時期で、夜は遅いし話も出来ない。私は毎日の生活は大丈夫か心配で、休みの日や出張から帰った時に子供達の話から、日々の生活が見て取れ、安堵したので思い出します。



時が過ぎ、大和田に生活

の場を移す事になり、元気に大病もせず頑張りてきた悦代が、子供の自立が始まると、悦代自身の身体や精神面のトラブルを抱えることになりました。今では子供達も独立し、孫にも恵まれ、時の流れを感じています。

「有難う、楽しかったよ、悦代と私はもうひと頑張りだね。」とこれまで頑張りてきた悦代に話しています。早いもので、悦代がホームにお世話になって十カ月が過ぎました。これからも宜しくお願いたします。

職員全体研修を行いました



「業体」の良質なサービス向上に真摯に取り組む職員の姿勢をサポートして参りたいと思います。

【法人本部 木下 福子】

理事長、津川常務理事のもと円滑に開催されました。



当法人の定例事業報告会は、新型コロナウイルス感染症禍で三年間中止を余儀なくされましたが、去る六月三十日（金）介護事業、障害児通所事業、自立援助ホーム事業の職員が一堂に会し、津川

現場の各事業の活動報告から、高齢者、児童への理解、技術、コミュニケーションの大切さ、職員一人ひとりの分野の専門性・情報共有と人事体制など、今年度の目標を共有することができました。法人の理念に基づき「福祉サービス事



昭和歌謡コンサート



六月十六日、テノール歌手『江上怜那』さんをお迎えして昭和歌謡コンサートが行われました。

江上さんは東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業され、クラシカルクロスオーバー歌手として、ミュージカル・歌謡曲・クラシックなど、多ジャンルで活動され、現在は四人組ユニット『歌声カルテット』として昭和歌謡コンサートを各地で行うなど、多方面で活躍されています。今回は、なのはなルームにて特



養・デイサービスその他、南デイや小規模多機能の皆様にも参加いただきました。懐かしい昭和歌謡コンサートは「青い山脈」から始まり、「高原列車は行く」や、「イヨマンテの夜」など、ご利用者の皆さんもよく知っている曲で、自然と口遊んだり、素晴らしい声量や、曲と曲の合間の話に「凄いね」「素敵ね」「やっぱりプロね」などと、とても楽しく素敵な時間を過ごしていただきました。

江上様のご厚意で別のフロアでもミニコンサートをして下さり、とても楽しいひと時となりました。【デイサービス課長 恩房 憲克】



グリーンヒルデイサービスセンター

新しい年度となり、控えていたお楽しみ会やおやつ作りを再開しました。「これを食べたい!」との希望で、それぞれ別日にフレンチトースト・白玉フルーツポンチ作りに挑戦。普段のご利用では見る事の出来ない、身支度や料理人のような手さばき姿に心が踊りました。出来るようになるにつれて、なのはな(デイサービス室内)に広がる、甘い香りと焼き上がる芳しさ・サイダーの弾ける音色に、皆様の明るい笑顔が見られて嬉しかったです。これからも日常の衛生対策をとりながら、取り組んで参ります。

七月より練習を始めていた盆踊りも、八月に本番の納涼会を迎え、絆クラブ様の踊りと太鼓の音と共に楽しみました。普段の練習とは違い、近くで見られる踊り手の方と、身体に響く心地よいリズムの音で、踊りの円を一周、また一周すると「だんだん足が軽くなってきた。」との声も。そして、身体が温かくなってきた頃に、かき氷も堪能し、まだまだ暑い夏を迎え撃ちます。

年中行事の開催も以前のように戻り始めました。また、これからの予定も控えています。是非、一緒に楽しく過ごしましょう。

【きらりのリーダー 福元 香織】



さっぱりするね



茹でます。



柔らかいのでそっと



甘くておいしい!



焼きます!!



均等に切って。



夏はやっぱりかき氷♥



絆クラブの皆様、太鼓の八木様ありがとうございました



高齢者複合ケア施設 特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台 地域密着型



八月九日、グリーンヒル八千代台では恒例行事である『夏祭り』を開催いたしました。昨年までの数年間、規模を縮小して実施をしておりましたが、今年是一般参加者、地域の子供たちを招いての企画となり、午前（一部）、午後（一部）とで約三〇〇名前後のご来場者をお招きすることができました。

正面玄関（ピロティ）・敷地駐車場内を開放し、夏の音楽を流し、同時に夏祭りがスタートしました。アトラクションとして、施設職員は「ヨーヨーすくい」「スーパースクールすくい」「魚釣り」、それに加えて午後からは地域の小学生（学童）が「的当て」の出し物でお出迎え。食べ物は「焼きそば」「綿菓子」「かき氷」「フランクフルト」等を出店。

ご利用者の皆様に「食べる」「遊ぶ」を楽しんでいただき、ご利用者と地域の子供たちとの交流もあって、会場は大賑わい。写真に写る皆様の表情、会場の様子からも賑わいと楽しさがうかがえます。

来場された地域の皆様、またボランティアの皆様、物品提供にご協力をいただいた皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

九月には施設のメイン行事「敬老会」が予定されています。当日は皆様でお祝いが出るよう、健康に配慮しながら、引き続きケアに努めて参りたいと思います。

【生活相談員 角掛 竜】

「多っぱーターミナル」

こんにちは、ふらっとホームグリーンヒルです。私たちは「誰もがふらっと立ち寄れる、居心地の良い地域の居場所づくり」を目指し、グリーンヒル八千代台にて毎週火曜日の夕方に共生カフェを開催しています。



ここでは、**夕食の提供**（大人三〇〇円・子供一〇〇円）を基本とし、加えて**学習支援、地域の皆様より頂戴した寄付食材の配布、周辺学童へ季節ごとのイベント誘致、世代間交流**など、様々なスタイルの地域貢献を行っています。

夕食の提供を伴う開催は、新型コロナの流行を受けて三年間中断を余儀なくされていましたが、昨年の十月より感染予防に配慮した形で再開し、徐々に地域に広がり、現在は地域にお住いの方々、近隣学童の子ども達、ボランティアの皆様と総勢七〇名が賑やかに食卓を囲む風景が見られるようになりました。これらの食材は、ふらっとホームの活動にご賛同いただいた方々からの協賛品で支えられています。今回はその一部をご紹介します。

地域で野菜をお育ての吉井様。季節ごとに旬の野菜を沢山の段ボールに入りきらない程度まで持ってきて下さいます。冬場の大きな葉付き大根は本当に見事です！夏は茄子にきゅうりにトマト、そしてスイカも頂きました。それらを使ったお料理は、皆様「美味しい、おいしいの」と沢山食べて下さり、野菜の鮮度が格別です。

お菓子のご寄付でイベントを支えて下さっているのは株式会社マルハン様。色々な種類のお菓子に、子ども達は大喜びです。活動を縮小していた時に、学童向けの小規模イベントを何度も開催し、毎回大変お世話になりました。



吉井様

お菓子の「多っぱーターミナル」に、魚やデザートと幅広くご支援をいただいております。お米やお肉、魚やデザートと幅広くご支援をいただいております。お米やお肉、魚やデザートと幅広くご支援をいただいております。



マルハン様



受付ボランティアの皆様

ご支援のお陰です。改めまして本場にありがとうございます。

片付けなど、毎回ご協力下さるボランティアの皆様も沢山いらっしやいます。コロナ禍を乗り越えて、現在ふらっとホームが活動出来ているのは、このような地域の皆様のご支援のお陰です。改めまして本場にありがとうございます。



中村様より



石井食品様

まず理事長のご親戚の中村様。日本各地から取り寄せた食材を沢山頂戴し、ふらっとホームの食卓と召し上がった皆さんの笑顔がより一層華やいであるように感じます。



料理担当ボランティアの「エプロンズ」

参ります。今後共どうぞ宜しくお願い致します。そして、お近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄り下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

八月の八千代カリーのイベントの際には、周郷梨園様が梨を無償で提供下さいました。お陰様で、開催時には一〇〇名近くの皆様に美味しい八千代カリーを提供することが出来

小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台 サテライトグリーンヒル勝田台



例年にならない猛暑日が続く中、八千代台西北支会すばる絵画教室の子ども達、役員の皆様と、八千代台西中学校の美術部の皆さんがグリーンヒル八千代台の壁面の絵画制作に取り組んで下さいました。

五年周期でお願いしているこの絵画制作も、早いもので今回で四回目となりました。黄色い飛行船はすっかり施設のシンボルとなり、

五年間夏も冬もグリーンヒル八千代台とご利用される方々を見守り続けてくれま



した。名残惜しくも飛行船とはお別れになりましたが、透き通るようなスカイブルーに塗り替えられた壁には、明るい未来を思わせる希望が溢れており、今回の新しい壁画にご利用者も職員も期待を膨らませていました。

塗り替えられた壁面に、土



台となる下絵を描いて下さったのは、西中美術部の皆さんと西北支会役員の皆様です。その伸び伸びと自信に溢れた筆運びに、中学生らしい子供らしさと、また裏腹に大



冬の餅つき



秋の紅葉



夏の花火



春の桜

人への成長過程で未来を担う意欲を持った頼もしさを感じました。

翌日から着色には、すばる絵画教室の子ども達・グリーンヒルキッズの子ども達も加わり、子供らしく自由奔放に世界を明るく変えていきました。

こうして出来上がったこの壁面の新たなシンボルは、日本の四季をテーマにした節毎の行事となりました。

「春の桜」
「夏の花火」
「秋の紅葉」



「冬の餅つき」。ここ数年のコロナ禍で行うことが出来なかつたイベントを、新たな形で

開催していこう！という期待を込め、それらが楽しく穏やかな日々となって描かれています。

ご利用者や職員のみならず、来苑されるご家族やお客様を元気づけてくれることでしょうか。お近くにお越しの際は、ぜひご覧頂ければと思います。

これからも四季折々の行事を、ご利用者と地域の方々と共に活動していければと思っています。

西北支会すばる絵画教室の子ども達、役員の皆様、八千代台西中学校美術部の皆さん、素敵な絵画をありがとうございました。

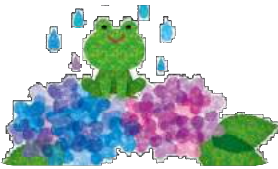


大竹 暁
小川 洋子
保利 優菜

地域密着型通所介護 グリーンヒル八千代台南デイホーム



谷津バラ園
淡い色のバラが
お似合いです



花見川農園
大きなジャガイモが掘れましたね



ユアエルム水族館
亀と仲良くなりました☆

春 から夏にかけて季節のお花見
物や地域のイベントに次々と
参加してきました。

ここ数年は感染症流行でなか

か外出が出来なかったので「久しぶりだわ〜」「数年ぶりに来たけど、変わってなくて安心ね」「自分では足を運べないから来られて良かったよ」と笑顔が沢山見られ、

現地でもバスの中でもずっと会話が

が続いていました。

外出は気分転換だけでなく、段

差昇降やでこぼこ道を歩くことにより、下肢筋力の維持にも良いと思います。

感染症・熱中症などに注意して、引き続きご利用者様が心の底から楽しんでいただけるような外出を企画して参ります。

（管理者 保坂 保仁）



村上正覚院
紫陽花が素敵でした



佐倉ラベンダーランド
心地よい香りです



千葉英和高校梨花祭
聖歌鑑賞



八千代台東町会
和太鼓演奏に手拍子です



八千代台自治会夏祭り
いい天気よかったですね



佐倉ふるさと広場
向日葵がーデンに行ってきました

放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ

子ども達が待ちに待った夏休みがやってきました。今年は四年ぶりにプールやお楽しみ外出が実施できるようにしました。感染症対策は終わりませんが、日々楽しいイベントが続いています。

今年の夏休みは、暑さ対策をしながら元気に過ごしています。

キッズの朝は、学校の宿題や自分の課題の学習からスタートします。上級生の様子を見て一年生も机に向かい、学習の後は自由遊び。カードゲームやブロック、工作、風船バレー等々。感染対策や熱中症対応に留意して、室内外できる遊びを工夫しながら過ごしています。時間がたっぷりとれるので、共通の遊びを楽しむ中で友達と交流する機会が増え、親睦が深まっています。

夏休みならではの楽しい行事も計画しました。今年も昨年に続いて「デイキャンプ」が三事業所合同で実施できました。カレー作りやカブトムシ探し、ウォーターバトル（水鉄砲遊び）等、自然を満喫しながら活動を楽しみました。また、グリーンヒルの「スイカ割り」や「夏祭り」にも参加させて頂き、笑顔いっぱい楽しい時間を過ごすことができました。

地域の方々に見守られ、友達との交流を楽しみながら思い出に残る夏休みを過ごしています。

【グリーンヒルキッズ・シユニア

管理者 岡 聖一】



「スイカ割り」
「夏祭り」
楽しかったね！



「ガキ大将の森」
カブト虫ゲット！



ガキ大将の森での
デイキャンプも
今年のカレーも
最高の味でした！



「産業博物館」
又行きたいな！



フラダンス楽しかったよっ♪





若葉ハウス



☐ 頃から若葉ハウスの運営にご協力いただきましてありがとうございます。ここまです運営出来たのも、関係する皆様のご協力があったのことに感謝申し上げます。

現在3名が入所しています。それぞれ進路について学校の事など、日々悩みも尽きませんが、葛藤しながら少しずつ前に進もうとしている姿

が見られます。職員もそんな子ども達に寄り添い、時にはそっと見守りながら一緒に泣いたり笑ったりしながら、共に成長を続けています。

先日、マリーゴールドを職員と子供とで協力しながら庭に植えました。黄色やオレンジの花が若葉ハウスに、より一層元気な気持ちを与えてくれます。

引き続き、子ども達が安心して帰れる居場所作りに努め、職員全員で力を合わせ、日々支援をして参ります。今後共ご協力の程宜しくお願い致します。

【 若葉ハウス 正田 友里恵 】



社会福祉法人 翠 燿 会

まずはお気軽にお問い合わせ下さい。
ホームページ：<http://www.greenhill.or.jp/>

- 特別養護老人ホームグリーンヒル
- グリーンヒル短期入所生活介護
- グリーンヒル居宅介護支援事業
- グリーンヒルデイサービスセンター
- グリーンヒル訪問介護
- グリーンヒル福祉タクシー



〒276-0022 千葉県八千代市上高野2058-5
047-484-6111 (代) / 047-485-8007 (FAX)

- 地域密着型通所介護 グリーンヒル八千代台南地区ホーム
- 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-24-22
047-484-2735 (FAX兼用)

- 八千代市勝田台地域包括支援センター
- 〒276-0023

千葉県八千代市勝田台1-16
京成サンコーポ勝田台E棟111号室
047-481-3515/
047-481-3522 (FAX)



- 小規模多機能型居宅介護 サテライト勝田台
- 〒276-0023 千葉県八千代市勝田台1-7
京成サンコーポ勝田台D棟208号室
047-485-1088 / 047-481-8354 (FAX)

- 自立援助ホーム「グリーンヒル若葉ハウス」
- 047-456-8640

- 特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台
- 短期入所生活介護グリーンヒル八千代台
- グリーンヒル八千代台居宅介護支援
- グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護
- グリーンヒル八千代台訪問介護
- グリーンヒル八千代台キッズルーム

〒276-0034 千葉県八千代市
八千代台西7-2-69
047-480-2777 (代) /
047-480-7770 (FAX)



- 放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ
- 〒276-0029 千葉県八千代市村上南1-10-3
G・STARマンション1階B号室
047-455-8585 (FAX兼用)
- 放課後等デイサービス グリーンヒルキッズゆりのき台
- 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-3-5
AHCゆりのき第2ビル1-101
047-411-5711/047-411-5721 (FAX)
- 放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ・ジュニア
- 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台1-2-3
角崎ゆりのき台ビル2階201
047-409-5901/047-409-5901 (FAX)

